

山崎賢人が世界の豪脚を披露

大阪・関西万博協賛・佐世保競輪開設74周年記念「九十九島賞争奪戦」は、12月19日〜22日の日程で開催される。今シリーズは松浦悠士、深谷知広、佐藤慎太郎のSS班3名が参戦するが、迎え撃つ地元勢も山崎賢人、荒井崇博、井上昌己とこれ以上は望めぬラインナップ。今年のG3開催もいよいよオーストラリア。今年の掉尾を飾るのは果たして誰なのか？また、最終日第9レースにてレインボーカップA級ファイナルが行われる。A級の頂点を決める一発勝負も目が離せない。

パリ五輪には出場できなかった山崎賢人ながら、10月にデンマークで開催された世界選のケイリンで、金メダルを獲得する快挙を達成した。世界チャンプの称号を引つ提げている凱旋レーサーとなるだけに、主役を務めるとみるのは当然だろう。競技のケイリンのみならず、本業の競輪でも6月久留米記念で優勝、共同通信社杯で決勝進出など結果を出している。競輪祭は未勝利も先行して世界レベルのスピードを遺憾なく発揮しており、最近の調子も問題は無い。後ろを百戦錬磨の大ベテラン・荒井崇博、井上昌己が固めるのも心強い。もちろん、荒井を中心とする手もある。オールスターでは予選を3連勝で準決



山崎賢人

佐世保記念は、待った74!

そのスピードは、ハンパ74。一発勝負。

大阪・関西万博協賛
開設74周年記念佐世保競輪
九十九島賞争奪戦 GⅢ
12月19日(土)・20日(日)・21日(月)・22日(火)

佐世保の美しさ、間違い74!!



荒井崇博

深谷知広も今年にはグランプリ参戦が叶わなかったが、G3で2Vを飾るなど、随所でパワーあふれる先行で別線を沈黙させていた。競輪祭では準決で落車して、体調が気がかりだったが、12月松山記念は①②②着と不安を一掃している。タイミングよく仕掛けて主導権を握れば勝ち負けに

にコマを進めると、共同通信社杯、競輪祭では優等を果たして、46歳ながらスピードに陰りは見られない。昨年に続き大会連覇を成し遂げる可能性は大いにありそうだ。井上は大会3Vの実績があるし、昨年は荒井をマークして準V。地元勢がレースを支配すれば連対望める。

SS班では松浦悠士が調子上がり。残念ながら今年にはグランプリ出場を逃がしたものの、競輪祭はVこそならず①①①①③着、12月大垣記念①②③と成績がまとまってきたし、躍動感が甦ってきた感がある。この開催の前に地元の広島記念in玉野に参戦するのでも、更に調子の積み上がりも不思議ではない。いい状態で出走する可能性が高いだけに、有力な優勝候補の一人だ。

もう一人のSS班・佐藤慎太郎は、6年連続となるグランプリ参戦を果たせなかった。今年には本意な成績だけだけに、最終戦は結果を出したいところだが、競輪祭で落車して、体調には一抹の不安が残る。タッグを組む菅田孝道は、競輪祭で決勝に進出、12月奈良は3連勝と動きがよい。展開がもつれるようだと怖い存在となろう。



松浦悠士

に持ち込める。

今年にはオールスター、9月向日町記念を続けて準Vなど、ブレイクした窓場千加頼。持ち味の自力攻撃に一段と磨きがかかっただけに、一発の魅力秘めている。レース巧者・稲川翔の援護も心強く、近畿勢の動向には注意したい。

中部勢は今シリーズも総合力では劣勢だが、浅井康太は侮れない。ライン手薄の不利を克服して、今年は2月高松記念をはじめ3Vを達成している。競輪祭は優等、12月松山記念では二次予選、準決を連勝して、調子も良好だ。

九十九島賞争奪戦 出場予定選手

氏名	登録地	期別	競走得点	級別	氏名	登録地	期別	競走得点	級別
山崎賢人	長崎	32	113.80	SS	佐藤慎太郎	福岡	78	114.13	S2
荒井崇博	京都	33	117.88	SS	深谷知広	福岡	48	117.18	S2
窓場千加頼	京都	33	112.79	SS	松浦悠士	広島	98	116.03	S2
浅井康太	三重	40	114.66	SS	堀洋	徳島	75	107.10	S2
坂井洋	宮城	30	113.07	SS	荒井崇博	長崎	82	117.88	S2
菅田孝道	宮城	38	113.31	SS	井上昌己	長崎	86	108.36	S2
松浦悠士	広島	34	116.03	SS	岩津裕介	岡山	87	110.50	S2
深谷知広	福岡	48	117.09	SS	山崎賢人	長崎	111	113.80	S2
佐藤慎太郎	福岡	48	117.18	SS	嘉永泰斗	熊本	113	109.75	S2

万博協賛 九十九島賞争奪戦 出場予定選手

級別	氏名	登録地	期別	競走得点	級別	氏名	登録地	期別	競走得点
S2	佐藤真一	東京	79	93.67	S2	瀬戸晋作	長崎	107	97.65
S2	國村洋	山口	80	95.24	S2	末木浩二	山梨	109	105.25
S2	大矢将大	埼玉	81	95.91	S2	佐々木龍	神奈川	109	109.48
S2	春日勇人	千葉	82	96.33	S2	堀徹介	大阪	109	92.28
S2	平沼由充	福岡	83	93.00	S2	清水一幸	大阪	109	102.00
S2	安部達也	埼玉	83	98.00	S2	瀬戸栄作	長崎	109	103.89
S2	荒澤貴史	北海道	85	95.14	S2	川越勇星	神奈川	111	104.74
S2	藤原憲征	新潟	85	99.00	S2	南潤	和歌山	111	103.63
S2	筒井敦史	岡山	85	102.65	S2	小川丈太	徳島	111	100.16
S2	高原仁志	徳島	85	102.58	S2	林慶次郎	福岡	111	104.58
S2	高橋秀幸	青森	85	97.73	S2	平尾一晃	長崎	111	98.36
S2	三ツ石康洋	徳島	86	100.40	S2	板垣亮	北海道	115	102.44
S2	吉田健市	愛知	87	96.00	S2	武田亮	東京	115	103.13
S2	岡崎景介	広島	87	91.13	S2	山本勝利	東京	117	104.64
S2	高津晃治	岡山	87	95.77	S2	仁藤秀	静岡	117	98.08
S2	柳谷崇	岡山	87	95.77	S2	渡邊雅也	静岡	117	103.96
S2	岡本大嗣	東京	88	99.95	S2	橋本智昭	岡山	117	100.94
S2	高橋成英	愛知	89	90.56	S2	青柳靖起	佐賀	117	103.14
S2	丸山貴秀	秋田	89	96.68	S2	犬塚貴之	愛知	117	94.56
S2	高塩譲次	栃木	90	95.58	S2	木村佑来	宮城	119	96.78
S2	藤原裕全	埼玉	90	92.62	S2	橋本壮史	茨城	119	102.04
S2	山中貴雄	高知	90	96.29	S2	桑名僚也	埼玉	119	100.33
S2	柿沼信也	埼玉	91	99.20	S2	福元啓太	大坂	119	93.76
S2	高橋和也	愛知	91	100.56	S2	齋藤雄行	神奈川	121	96.48
S2	山口貴弘	佐賀	92	102.16	S2	村田智樹	富山	121	108.21
S2	三谷政史	奈良	93	97.42	S2	梅崎隆介	長崎	121	98.14
S2	佐藤一伸	福岡	94	103.96	S2	篠田幸希	群馬	123	100.57
S2	愛敬博之	愛知	94	96.10	S2	山根慶太	岡山	123	94.82
S2	青森	95	95.33	S2	レインボーカップA級ファイナル				
S2	渡辺正光	福岡	95	98.18	A1	小嶋敬二	石川	74	93.95
S2	相川永伍	埼玉	95	102.55	A1	武藤篤弘	埼玉	95	95.21
S2	東龍之介	神奈川	96	103.68	A1	佐方良行	熊本	97	93.34
S2	佐伯翔	福岡	97	98.52	A1	橋本智昭	宮城	99	95.37
S2	小島歩	神奈川	97	97.28	A1	小原文一郎	青森	115	96.26
S2	西岡拓朗	広島	97	98.14	A1	梁島邦友	茨城	117	95.16
S2	徳永哲人	熊本	100	103.17	A1	坂田康季	佐賀	121	97.12
S2	清水剛志	福井	103	102.58	A1	松本秀之慎	熊本	121	93.92
S2	栗山俊介	奈良	103	97.70	A1	棚瀬義大	岐阜	123	96.27
S2	新納大輝	鹿児島	103	97.50	S2				
S2	山本紳貴	千葉	107	97.76	S2				

※2024年12月11日現在

直近12場所成績

※2024年12月11日時点

村田 祐樹 (富山/121期)

9月岐阜記念で2②①③着とブレイクすると、10月富山2①①着ではS級初Vを達成。デビュー以来、先行基本の競走でステージを上げてきた。先行有利なバンクなので、格上相手でも軽視は禁物だ。



杉森 輝大 (茨城/103期)

このところまくり兼備の差し脚好調。10月別府G3は①①②⑤着、11月防府記念では1①②⑥着とG3で連続優参を果たしている。伸びがいいので、今シリーズも上位戦で好勝負が期待できる。



青野 将大 (神奈川/117期)

寛仁親王牌、競輪祭では、一般戦、軽選抜ながらそれぞれ1勝をあげていて、仕掛けがツボにはまった時はG1でも好走している。12月伊東などF1戦は2V。9月岐阜記念で決勝に乗った実績もあり、準決でも目が離せない。

レインボーカップ A級ファイナル

A級最強の坂田康季だ

レインボーカップ A級ファイナル 出場予定選手

選手	期	身長	所属	得意バンク	得意走法	直近4ヶ月前期得点	直近4ヶ月今期得点	直近12場所成績	総合評価
松本秀之	22	174cm	熊本	①①①	①①①	93.92	92.21	12月11日 72 [7]	72 [7]
佐方良行	44	168cm	熊本	②②②	②②②	93.34	93.97	12月11日 72 [11]	72 [11]
坂田康季	26	180cm	熊本	③③③	③③③	97.12	96.41	12月11日 75 [2]	75 [2]
小嶋敬二	55	175cm	熊本	④④④	④④④	93.93	94.63	12月11日 72 [9]	72 [9]
棚瀬義大	25	183cm	熊本	⑤⑤⑤	⑤⑤⑤	96.27	95.84	12月11日 73 [4]	73 [4]
武藤篤弘	40	167cm	熊本	⑥⑥⑥	⑥⑥⑥	95.21	95.10	12月11日 74 [11]	74 [11]
梁島邦友	25	166cm	熊本	⑦⑦⑦	⑦⑦⑦	95.16	95.46	12月11日 72 [6]	72 [6]
橋本智昭	42	174cm	熊本	⑧⑧⑧	⑧⑧⑧	95.37	99.48	12月11日 74 [5]	74 [5]
小原丈一郎	26	176cm	熊本	⑨⑨⑨	⑨⑨⑨	96.26	102.58	12月11日 75 [2]	75 [2]

来期もA級で勝負駆けになるのは小原丈一郎、橋本智昭、梁島邦友の3人。ここに入ってもVの有力候補となる選手ばかりなので組み立て次第で目標を達成する可能性は高そうだ。ただ、V争いの中心になるのはそろった九州勢で、中でも本命には坂田康季が最も相応しい。メンバーに恵まれたが8月当所MNでの優勝が弾みとなって、以後の快進撃ぶりは目を見張るものがある。特進できてないのが不思議な戦績で、今期だけでV8、目下5連続優勝でA級最強の呼び声も高い。松本秀之、佐方良行の熊本コンビとは割り切って別線勝負で単騎戦となる可能性もあるものの、先行だけでなくまくりでも力を発揮できるようになった現状を考えればハンデにはならぬのでは。8月に続いて10月にも優勝している得意走路でもあるし、勝負所で必ず仕掛けて結果を出す。連係はどうあれ熊本コンビも上位進出は十分。松本も直近の12月別府で先まくりの梁島をねじ伏せてVなど乗れている。



坂田 康季



小原 丈一郎

小原と橋本が組めば九州勢とも互角以上に渡り合える。小原も失格がなければ今期も来期もS級だったはずの選手で、今期は5V、準V3回とA級ではレベルが違う。同じく今期5Vと自力でVを狙える橋本に命運を託されれば一層奮起しよう。しっかりとレースの流れに乗っていい好スタートを決められれば両者でワンツーがあってもいい。梁島は逃げて強い選手なので、武藤篤弘を連れたの積極策は考えられるが、他の自力型に比べてヨコの動きもできるのが強みでもあり、いざとなれば総力戦で臨む構えだろう。ノルマである3着以内に入ってみせるか。棚瀬義大は、レジェンドの小嶋敬二を背負うだけでなく、このメンバーでは挑戦者の立場だ。今期6Vと素質が開いただけに、自慢のロングスパートで他を沈黙させてしまうかも。そうすれば小嶋にもチャンス。